

# 地域活性化の先進事例学ぶ

## 市議会産業建設常任委が四国の3市を視察

鶴岡市議会産業建設常任委員会の行政視察が7日から9日まで行われ、愛媛県八幡浜市、高知県高知市、同県南国市を視察しました。

「道の駅」を起点に地域の活性化をめざす  
—八幡浜市



八幡浜市は、愛媛県の西部、佐田岬半島の基部に位置し、人口約3万4千人。四国の西の玄関であり、みかんが魚が特産です。

八幡浜港に隣接し、年間百万人が来訪、県内有数の観光スポットになった道の駅・みかとオアシス「八幡浜みなと」を視察しました。

産直・物販・飲食施設に加えまちづくり活動拠点施設も併設し、市民が気軽に集いミー



数十種類のみかんジュースが並ぶ産直施設

産直施設には、特産のみかん、数十種類のみかんジュースが並び、八幡浜市の特産品が並びます。また、海産物直売所には16店舗が並び、新鮮な地元の魚が販売されています。市では、地域の特産品を生かした加工品開発をはじめ



高知市役所にて

高知市は、高知県の県庁所在地で人口約33万人。総額8億円の予算規模で想定される南海トラフ地震による被害の軽減を目指し事業を実施しています。耐震診断の無料化をはじめ、自己負担の少ない耐震改修など手厚い補助制度を行っています。また、広報活動でも

2013年のオープン以降、平日は約1千人、休日は約5千人とにぎわいをみせています。当初の計画では、設計をコンサルタント会社に依頼しましたが、市長が代わり「まずは市民にとって魅力あるものをつくらう」と方針転換し計画も抜本的に見直しました。産直施設には、特産のみかん、数十種類のみかんジュースが並び、八幡浜市の特産品が並びます。また、海産物直売所には16店舗が並び、新鮮な地元の魚が販売されています。市では、地域の特産品を生かした加工品開発をはじめ

(2面につづく)

め来訪者が港以外のエリアにも周遊し経済効果を還元させるように周遊バスツアー、自転車を活用したまちづくり、さらには市民活動の活発化などをめざして取り組みをすすめています。

南海地震に備え耐震改修と空き家対策を強化—高知市

### ○耐震改修

高知市は、高知県の県庁所在地で人口約33万人。総額8億円の予算規模で想定される南海トラフ地震による被害の軽減を目指し事業を実施しています。

耐震診断の無料化をはじめ、自己負担の少ない耐震改修など手厚い補助制度を行っています。

また、広報活動でも

などにも耐震改修促進のチラシを設置するなど啓発活動にも積極的に取り組んでいます。市民に対し具体的な被害軽減効果を示すことで促進を図っています。

一方、3〜4割が耐震診断で終わっているというのが課題とのことでした。特に高齢世帯は、耐震化より生活費を優先する傾向にあります。津波の被害も想定されているため、建物全体を耐震化し、避難路を妨げないようにするため取り組みを進めています。

### ○空き家対策

想定される南海トラフ地震等に備え、平成26年度から実施した中心市街地住宅等リフォーム助成制度を終了し、29年度からは住宅等の耐震化に予算を組んでいます。

市が行った「空き家等の所有者等の意向調査」によれば、居住者の入院・入所や死亡、賃借人が見つからない等の理由で空き家になったという回答が多く、また、時々過ごす物置・倉庫棟として使っているとの回答が多数あり、外観での現状把握が難しい側面が明らかとなったとまとめられています。

人口減少と少子高齢化のなか、鶴岡市をはじめ、どの自治体にお

子育て世代に特化した観光で集客増—南国市

南国市は、高知市の東側に隣接し、人口約4万8千人、県下第2の都市です。近年は、高知龍馬空港、高知自動車道南国インターチェンジを有し、高知県の玄関交流都市となっています。

2016年に物部川地域(南国市、香南市、香美市)において、観光活性化を面的に推進することを目的として「物部川DMO協議会」を発足させました。

※DMOとは特定地域における観光等の戦略の策定・データ調査、マーケティング・プロモーションなどを一体的に実施する組織体。事業内容としては、

地域の観光情報の収集・発信、観光商品の企画・造成・販売、人材の育成などです。

# 町議選勝利へ決意

## 庄内町の共産党演説会に60人



酒田地区広域行政組合の入札問題で辞職勧告を受けたが、住民による入札を考える会が立ち上がり、町長の不正を追及してきた。住民の要望を取り上げ、就学援助金の早期支給や、福祉灯油を広げ、人間ドックのピロリ菌検査の導入などを実現してきた。

参議院国政対策委員長の藤兵衛氏があいさつを述べ、高橋ちづ子衆院議員が「国政で起こっている問題はすべて首相案件だ」と述べ、TPP11の強行採決や、カシノ法案、「働き方」改革のひどい内容と、森友・加計疑惑の追求などを報告しました。



物部川DMO協議会が作成したパンフレット  
物園などがあり、小学生、未就学児など子育て家族層をターゲットにした観光に力を入れています。  
パンフレットも子どもの年齢に合わせて周遊コースを提案、子どもの心の成長に必要な感動体験とその背景に広がる地域の特色や人々が欠け合わさることに「ものがたり」の主人公として紹介しています。  
(長谷川剛)

6月19日告示、24日投票の庄内町町議選を前に、高橋ちづ子衆院議員を迎え、日本共産党演説会が20日、余目第二公民館で開かれ、約60人が参加しました。

町民アンケートでは、町長は清川歴史公園に12億5千万円を投ずるが、人口減少で不安の方が大きい、赤字を大きくしないではしとの声がある。

平成30年度第一学区児童保育所父母会総会が、17日開催されました。第一学区児童保育所

予定候補である工藤のり子町議は、「町議として16年目を迎え、皆さんに改めて感謝したい。」

国政では平和憲法を守り、戦争しない国をつくるため、力を合わせて頑張っていくと決意を述べました。

は、昨年創立30周年を迎えました。登録児童数は、正規登録、臨時登録合わせて240人となり県内でも最大規模となりました。

### 同級生6人に声をかけてほしい ゴールドパス・水道料など話題に

18日に稲生町で小学校からの同級生6人に声掛けし集まっていたが、「ついで」を行いました。

円は助かる。今まで知らなかった」との声が上がりました。また水道料金の値上がりも検討されているが、話をすると「今でも節水しているが、値上げになれば更に節約しないと。」の声に全員が賛同していました。

議会報告では、新文化会館の第三者委員会が15日に発足し検証作業が始まったこと、南部保育園の新築移転、国民健康保険料の平均1万円引き下げ、高齢者の免許書自主返納者へ1万円券（タクシー・バス）、高齢者のパス定期券（ゴールドパス）等を説明しました。

皆さんからは「孫の大学の授業料が掛かって大変だ」「奨励金と奨学金を借りても、働くと長期間の返済で大変だ。」等の声が寄せられました。

「毎週1回以上エスモールまで320円で往復すると640円掛かるが1か月で2500

笑顔が溢れ笑いの絶えない2時間はあっという間に過ぎました。  
(坂本昌栄)

## 2018年原水爆禁止 国民平和大行進

6月16日(土)	6月17日(日)	6月18日(月)
9:00 庄内町引継ぎ集会	9:15 出発集会	8:30 出発集会
9:30 出発	9:30 随神門前出発	9:00 鶴岡市役所出発
10:00 乗慶寺	9:50 正善院	9:20 禅龍寺
10:30 宝護寺	10:30 金剛樹院	10:10 旧7号交差点
11:00 眞秀寺	11:10 大鳥居	10:40 かぶモニュメント
12:00 洞泉寺	みんなで写真	11:00 あつみ温泉駅
12:30 猪子公民館	12:00 昼休み	11:10 温海庁舎歓迎集会
13:30 押切郵便局出発	13:00 鶴岡駅出発集会	昼休み
14:10 三川町歓迎集会	13:25 日吉町アーケード	12:30 出発
14:40 出発	13:30 山王通り	12:40 釜谷坂トンネル
15:00 ラコス	13:36 銀座通り	12:50 J A たがわオトバル
15:10 多福院	南銀座通り	13:00 鼠ヶ関関所跡
	13:50 常念寺	13:30 弁天島ビ- Fletcher
	14:25 朝陽第一小学校	新潟へ引継ぎ集会
	美原町交差点	
	15:00 鶴岡市役所歓迎集会	

平和観音霊場などの寺院を巡礼し、戦争犠牲者と広島・長崎の原爆犠牲者ならびに東日本大震災被災者の皆様にご冥福の祈りをささげます。

建築課入札結果 ( ) 内は予定価格

5月17日入札分
・市立保育園移転新築電気設備工事 (陽光町9番31ほか) (入札11業者) 庄内配電管工(株) 52,800,000円 (53,440,000円) 工期~31/8/30 (落札率98.80%)
・市立保育園移転新築機械設備工事 (陽光町9番31ほか) 保留
・市立保育園移転新築工事 (陽光町9番31ほか) (入札7業者) 笠原・菅原工務 特定建設工事共同企業体 421,000,000円 (424,400,000円) 工期~31/8/30 (落札率99.20%)